

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 1-1 防災・減災対策の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 道路課、治水課、建築住宅課、市街地整備課、経営課、警防課

1. 目的

市民の防災・減災に対する意識を高めるとともに、災害に備えるまちづくりを進めます。

2. 展開内容

市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。

さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及び非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自治会による自主防災組織の組織率	%	目標値		71.1	71.6	72.2	72.8	73.4	73.9
		実績値	70.5(R2)	72.6	74.1	74.1			
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	組織	目標値		19	20	22	23	24	25
		実績値	18(R2)	18	21	21			
消防団訓練参加率	%	目標値		60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上
		実績値	60(R1)	90	90	79.58			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
自治会による自主防災組織の組織率	達成	未組織の自治会に対し、自主防災組織の目的や必要性等を説明し組織化に向けた取り組みを行ったが、新たに組織した自治会はありませんでした。引き続き、未組織の自治会に対して丁寧な説明を行っていきます。
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	未達成	各自治会・自主防災組織に対して、避難行動要支援者名簿の提供について周知し、丁寧な説明をしましたが、新たに市からの名簿提供を開始した組織はありませんでした。引き続き、制度に関する丁寧な説明を行っていきます。
消防団訓練参加率	達成	実施日や実施時間等を消防団員が参加しやすいように団役員と調整するとともに、従来の消防団訓練に加え、自然災害や大規模災害に備え、実態に即した訓練を継続していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	189の自治会のうち140の自治会が自主防災組織を設立しているが、高齢化や担い手不足から訓練実施等に差が生じてしまっています。引き続き自助・共助・公助の体制強化を図るとともに市民一人一人に対して防災・減災に対する更なる意識向上が必要と考えるので、市としても支援をしながら周知を図っていきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 1-2 浸水対策の推進

主管課 : 建設部 治水課

関係課 :

1. 目的

台風や大雨等による浸水被害を少なくするための取組を進めます。

2. 展開内容

市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。
さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
浸水対策達成率	%	目標値		68.2	69.3	70.5	71.7	72.9	74.0
		実績値	67.0(R2)	67.9	68.0	68.9			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
浸水対策達成率	未達成	柴崎地区、布佐地区で重点的に浸水対策を進めていますが、各地区において工事用地の確保や不明埋設物の対応などの様々な問題があります。浸水対策に遅れないように進めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	柴崎地区及び布佐地区は、用地の確保、既設道路や雨水排水を考慮しながらの施工、不明埋設物の対応などの様々な問題があります。 用地の確保は、所有者の理解・協力、また既存道路での工事は、交通規制や騒音・振動などの課題について、今後も丁寧に説明し、ご不便をおかけする皆様の理解・協力が得られるよう努めていきます。また、高度化・複雑化する工事について、職員の技術力向上に努めるとともに、計画的に工事を実施し、財源の確保に努めていきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 1-3 防犯対策の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 商業観光課、指導課

1. 目的

犯罪の起こりにくい環境づくりと、市民の防犯意識の向上を図ります。

2. 展開内容

防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。
また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
刑法犯認知件数	件	目標値		590以下	590以下	590以下	590以下	590以下	590以下
		実績値	590(R2)	507	607	551			
市内一斉パトロール延べ参加者数	人	目標値		1,497	1,511	1,526	1540	1555	1,570
		実績値	1,482(R2)	1,973	1,757	1730			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
刑法犯認知件数	達成	直近3年間は500~600件程度で推移しています。内訳としては窃盗犯の割合が多いことから、引き続き警察をはじめ、防犯団体と連携しながら啓発を行い、犯罪抑止に努めていきます。
市内一斉パトロール延べ参加者数	達成	ボランティアの担い手の減少・高齢化が進んでいることから参加者数が減少しています。引き続き、市民の防犯意識向上を図り、参加者数の増加に努めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント(理由、課題、改善点など)
順調	警察、防犯協議会等と連携し、市内一斉パトロールなどの啓発活動を行いました。近年は電話de詐欺等の特殊詐欺や自転車盗が多く発生しているため、更なる広報や啓発活動を継続して行うことが重要と考えます。引き続き各関係団体と連携しながら防犯意識の向上を推進していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 1-4 消防力の強化

主管課 : 消防本部 警防課

関係課 : 消防本部総務課、予防課

1. 目的

火災などの災害から市民を守るため、消防・救急・救助体制を充実します。

2. 展開内容

災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。また、火災予防体制の強化を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	%	目標値		68.4	74.7	81.0	87.3	93.6	100
		実績値	56.5(R2)	62.1	42.1	54.6			
住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	人	目標値		0	0	0	0	0	0
		実績値	0(R2)	1	1	0			
救命講習年間受講者数	人	目標値		5,958	6,338	6,718	7,098	7,478	7,800
		実績値	5,578(R1)	3,222	4,684	4,691			
消防用設備等の点検報告率	%	目標値		55.8	58.7	61.5	64.3	67.1	70.0
		実績値	53.0(R2)	54.3	60.0	62.0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	未達成	災害出動件数の増加に伴い、管轄外への出動件数が増加しており、目標を達成できなかったと考えます。令和6年度から非常用救急車を活用し臨時救急隊を原則として日中は常時編成することとしており、今後も、常備5隊が出動した際における、他市からの応援を得る前の迅速な対応として活用を図ります。
住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	達成	住宅防火の推進及び立入検査等については、事業計画どおりに実施することができました。今後も住宅火災による死者数0を継続するため、住宅用火災警報器の適正な設置や維持管理について広報・指導をしていきます。
救命講習年間受講者数	未達成	令和6年度は、開催場所の制限等を大幅に緩和し、あらゆる受講要望に対応しましたが、目標を達成することができませんでした。目標未達成の要因を改めて精査し、受講者数の増加を図ります。
消防用設備等の点検報告率	達成	定期査察や通信査察で消防用設備等の点検報告の必要性について、建物関係者に指導しております。今後も適切な指導を行い、点検報告率の向上を目指します。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	災害出動件数は増加しましたが、令和6年度から増加する救急需要に対応するため臨時救急隊を常時運用したことに伴い、現場到着時間が前年度よりも短縮しました。救命講習は会場等の制限を全て解除しあらゆる受講要望に対応しましたが、目標を達成することができませんでした。目標未達成の要因を改めて精査し、受講者数の増加を図ります。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 1-5 交通安全の推進

主管課 : 建設部 交通政策課

関係課 : 道路課

1. 目的

交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、安全な交通環境の整備を進めます。

2. 展開内容

交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
交通事故による死者数	人	目標値		3以下	3以下	2以下	2以下	2以下	2以下
		実績値	4(R2)	2	0	4			
交通事故の発生件数	件	目標値		241	241	240	240	240	240
		実績値	242(R2)	212	209	140			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
交通事故による死者数	未達成	死者数4件のうち3件が高齢者関係の事故であった。交通安全教室や街頭での啓発活動を通じて広く市民へ交通安全意識や自動車と自転車の運転マナーの向上を図ります。
交通事故の発生件数	達成	交通事故発生件数は、年々減少している。これは警察・交通安全協会などと連携して実施している交通安全教室など、地道な努力が成果を上げている一助と考えています。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほほ順調	警察等と連携し、交通安全教室などの啓発活動を行い、交通安全意識の向上と交通事故防止を図ることが重要です。開催数はコロナ禍前に戻りつつあり、今後も継続的に実施して交通事故防止を目指します。 湖北中学校の通学路に矢羽根型路面標示を設置しました。自転車専用道路の整備は、財源や優先事業の整理が必要で、今後策定を予定している「自転車活用促進計画」の中で検討していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 2-1 地域福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 : 高齢者支援課、生活衛生課

1. 目的

人と人がつながり、地域みんなで助け合い支え合う環境づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
民生委員定員充足割合	%	目標値		91.4	93.1	94.9	95.0	97.0	100
		実績値	89.7(R1)	89.8	94.1	93.0			
社会福祉協議会のボランティア登録者数	人	目標値		6,826	7,221	7,616	8,000	8,400	8,800
		実績値	6,431(R2)	6,919	6,783	10,492			
孤立死の件数	件	目標値		2以下	1以下	1以下	1以下	1以下	0
		実績値	2(R2)	0	0	0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
民生委員定員充足割合	未達成	体調不良等により、退任した民生委員がいたため、前年度より実績値が減少しました。令和7年度は一斉改選の年となるため、欠員地区が生じないように候補者の確保に努めていきます。
社会福祉協議会のボランティア登録者数	達成	前年度より実績が増加し、目標値も達成しました。今後も引き続き、ボランティア活動を実施している社会福祉協議会と協力し、ボランティア登録者を増やして増やしていきます。
孤立死の件数	達成	引き続き、障害者支援課、高齢者支援課、社会福祉課の3課で連絡・情報共有を行い対応をしています。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	社会福祉協議会や民生委員・児童委員等と連携し地域福祉の推進に取り組みました。 社会福祉協議会のボランティア登録者数について、実績値が目標値を大きく上回り、地域住民の参加と協力が向上しました。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 2-2 健康づくりの推進

主管課 : 健康福祉部 健康づくり支援課

関係課 : 国保年金課

1. 目的

誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。
また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
特定健康診査の受診率	%	目標値		54.0	60.0	35.5	36.0	36.5	60.0(R5)
		実績値	31.7(R2)	34.7(R3)	35.3(R4)	35.3(R5)			
特定保健指導の実施率	%	目標値		45	60	25.0	26.0	27.0	60.0(R5)
		実績値	40.1(R2)	29.3(R3)	23.6(R4)	30.1(R5)			
がん検診受診率	%	目標値		7.7	9.2	10.7	13.2	14.2	15.2
		実績値	6.2(R2)	6.6	6.2	6.2			
救急搬送者の市内医療機関収容率	%	目標値		90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持
		実績値	98.5(R2)	97.4	97.0	96.8			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
特定健康診査の受診率	未達成	目標は未達成となりました。近年受診歴のある方への勧奨を行っていますが、受診につながらない状況です。今年度、AIやナッジ理論を活用した受診勧奨を行うほか、通院先医師からの勧奨により、受診率向上に努めていきます。
特定保健指導の実施率	達成	目標を達成することができました。更なる向上のため、集団健診の初回面接分割実施の全件実施を目指していくほか、面接会場を新たに設けるなどして、利便性向上により、特定保健指導の利用拡大に努めていきます。
がん検診受診率	未達成	目標は未達成となりました。今年度からLINEを利用した受診券の申込・日時予約を採用し、若年層を中心に、より利用しやすい体制を整えています。また、集団検診時にお子さんの預かりを実施し子育て世代が受診しやすい体制をとるほか、健康フェアイベントでのがんクイズラリー、中学校や高校でのがん教育実施により理解の促進や啓発を実施しました。今後も個別の受診勧奨を行っていく他、広報、SNS等を利用して、がん検診の重要性を周知していきます。
救急搬送者の市内医療機関収容率	達成	目標を達成することができました。令和5年4月30日に我孫子つくし野病院が閉院して以降、市内5病院で受け入れ体制を整備している中で、目標値を上回る受入率を維持できています。今後も安定・継続した体制整備に努めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>特定健診、がん検診、歯科健診など各種健（検）診の必要性について、広報やメール・LINE・フェイスブック等のSNSを活用したり、様々な健康教育等の機会を活用するほか、市内高等学校でがんについての講義を行うなど、周知啓発を実施しました。</p> <p>引き続き、市民の健康増進を図っていくため、啓発方法や内容を検討し、受診率向上を目指していく必要があります。</p> <p>また、市民健康アンケートの結果によると、がん検診については、市の検診以外で受診する人も多く、一概に傾向を把握することは難しい状況ですが、市検診以外であっても検診受診の必要性の啓発も継続していきます。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 2-3 高齢者福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 高齢者支援課

関係課 :

1. 目的

高齢者が生きがいを持ち、住み慣れたまちで自分らしくいきいきと生活できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。
また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
要支援・要介護認定率	%	目標値		18.2以下	18.2以下	18.2以下	18.2以下	18.2以下	18.2以下
		実績値	16.3(R2)	17.8	17.9	18.5			
きらめきデイサービス利用者数	人	目標値		1,367	1,393	1,420	1,445	1,470	1,500
		実績値	1,340(R1)	916	950	1,075			
認知症サポーター養成者数	人	目標値		13,738	14,951	16,163	17,500	18,500	19,800
		実績値	12,526(R2)	14,703	16,185	17,514			
高齢者なんでも相談室への相談件数	件	目標値		29,114	30,291	31,469	34,000	34,500	35,000
		実績値	27,937(R2)	31,514	33,318	36,798			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
要支援・要介護認定率	未達成	被保険者数のうち前期高齢者は減少し、後期高齢者数は増加傾向となっています。要介護認定者は80歳以上で急増しており、今後も認定率は高くなる傾向が予想されます。
きらめきデイサービス利用者数	未達成	新型コロナの影響により、令和2年度に利用者が激減しました。その後、感染症による制限が緩和されるにつれ、徐々に利用者は増えています。 しかし、コロナ禍以前からの利用者が高齢化により減少し生活様式の変化により60代後半から70代前半の新規利用者などが増えない状況から、令和6年度の目標値には届きませんでした。
認知症サポーター養成者数	達成	市民講演会の開催やガイドブックの配布、広報掲載等にて市民に積極的に普及啓発を実施したことにより幅広い世代で受講者数が増加しました。
高齢者なんでも相談室への相談件数	達成	高齢化に伴う相談対応延べ件数の増加に加え、複合課題を抱えた相談者が増加し、関係機関と連携しながら相談支援を実施しました。また、高齢者なんでも相談室のカラー版パンフレットを作成し、市民に身近な相談窓口の周知を図っています。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	きらめきデイサービスを対象に理学療法士の訪問指導を実施し、身近な地域の通いの場における介護予防の取組を推進することができました。 高齢になっても自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するために、地域課題の解決に向け、地域の関係機関や専門職と連携を強化し、地域包括ケアシステムのさらなる深化を目指していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 2-4 障害者福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 障害者支援課

関係課 : あらき園、障害者福祉センター

1. 目的

障害のあるすべての人の個性が尊重され、自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
在宅福祉サービスの延べ利用者数	人	目標値		2,548	2,613	2,679	2,744	2,809	2,875
		実績値	2,482(R2)	2,654	2,737	2,826			
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	人	目標値		10,862	11,560	12,258	12,956	13,654	14,352
		実績値	10,164(R2)	12,428	13,467	13,793			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
在宅福祉サービスの延べ利用者数	達成	サービスの供給需要に対し、不足なくサービスを提供することが出来ました。引き続きサービス提供体制を整え、サービスが過不足なく提供されるよう整備していきます。
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	達成	サービスの供給需要に対し、不足なくサービスを提供することが出来ました。引き続きサービス提供体制を整え、サービスが過不足なく提供されるよう整備していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	介護、訓練、医療給付、相談支援などの、総合的な支援体制を充実させると共に、子どもや高齢者、医療機関などの関係機関と連携して支援することができました。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 2-5 生活支援の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 : 高齢者支援課、国保年金課

1. 目的

社会保障制度が理解され、医療や生活保障を必要な人が受けられる体制づくりを進めます。

2. 展開内容

年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。
生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
被保護者就労支援事業による就職率	%	目標値		46.9	50.9	55.0	59.0	63.0	67.0
		実績値	42.9(R2)	67.5	64.8	75			
介護保険料収納率	%	目標値		99.4	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5
		実績値	99.4(R2)	99.4	99.4	99.5			
国民健康保険税収納率	%	目標値		93.7	93.8	93.9	94.0	94.1	94.2
		実績値	93.6(R2)	93.9	93.6	93.3			
後期高齢者医療収納率	%	目標値		99.7	99.7	99.8	99.8	99.8	99.8
		実績値	99.7(R2)	99.6	99.6	99.6			
国民年金保険料納付率	%	目標値		76.8	76.9	76.9	76.9	76.9	77.0
		実績値	76.8(R2)	81.4	82.0	83.8			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
被保護者就労支援事業による就職率	達成	目標値を大きく上回る結果となりました。引き続き、就労意欲が低下しないよう早期に就労支援プログラムへの参加を促し、ハローワークなどの関係機関と連携を図りながら、就職につないでいきます。
介護保険料収納率	達成	納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、債権回収室との連携、督促や催告を適切に実施したため、目標を達成することができました。
国民健康保険税収納率	未達成	昨年度より、納期内納付の推進として、多様化する納付方法に対応し利便性の向上を図りました。また、督促や滞納整理を行い、国民健康保険の徴収に努めましたが、目標には届きませんでした。今後は、滞納整理の早期着手（滞納処分として給与、預金債権を中心に差押）をすることで滞納額の縮小に努めます。
後期高齢者医療収納率	未達成	督促・催告通知に加え、分納不履行者に対して電話催告をするなど、保険料の徴収に努めたが、目標には届きませんでした。今後も目標を達成できるよう、滞納者には納付相談を促し、新たな滞納者が増えないよう督促を行っていきます。
国民年金保険料納付率	達成	資格取得時や納付に関する相談があった際に、多様な納付方法があることや納付困難な場合の免除制度について丁寧に案内することで目標を達成することができました。今後も年金制度を理解していただけるよう、丁寧な説明、正確な情報提供に努め、納付率の向上を図っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	総合相談の体制により医療や生活保障を必要としている人に対して必要な支援につなげることができました。生活困窮者の自立を促進するため、就労支援事業をさらに充実させていきます。誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて努力していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

主管課 : 健康福祉部 健康づくり支援課

関係課 : 社会福祉課、子ども支援課、保育課、子ども相談課、学校教育課

1. 目的

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援に取り組みます。

2. 展開内容

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。
 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。
 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
保育園等の待機児童数	人	目標値		0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0			
妊婦健康診査受診率	%	目標値		95.8	96.6	97.5	98.3	99.1	100
		実績値	94.9(R2)	97.4	95.5	94.2			
麻しん風しん予防接種対象者の接種率	%	目標値		96.8	97.4	98.1	98.7	99.3	100
		実績値	96.1(R2)	88.9	92.6	91.0			
学童保育室入室許可割合	%	目標値		100	100	100	100	100	100
		実績値	96.5(R2)	97.9	98.2	99.5			
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	%	目標値		100	100	100	100	100	100
		実績値	100(R2)	100	100	100			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
保育園等の待機児童数	達成	第三次我孫子市保育園等整備計画により、保育ニーズに合わせた定員数を設定しています。今後も保育士の確保に努め、待機児童ゼロを継続していきます。
妊婦健康診査受診率	未達成	目標は未達成となりました。妊娠届出時面接において個別面談を実施し受診勧奨を行っています。母子健康手帳交付後、妊娠の中断により1回目の妊婦健康診査受診に至らない場合があり、受診率が低くなっています。今後も引き続き、妊娠届出時面接の充実やホームページ等で妊婦・乳児健康診査についての周知を引き続き行います。
麻しん風しん予防接種対象者の接種率	未達成	目標は未達成となりました。乳幼児の健診・相談事業や訪問等の際に、予防接種状況の確認や勧奨チラシの配布を実施し、今後も接種勧奨を進めていきます。また、2期接種率が低い傾向のため、保育園等の年長クラスや5歳児健診の機会にチラシを配布したり、2期末接種者へ個別通知を送付していきます。
学童保育室入室許可割合	未達成	市内東西によって、許可割合が異なるため、地域に合わせた対応が必要と考えます。
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	達成	令和4年に発生した事件を教訓として、二度と同じような事件が起こらないよう、丁寧かつ迅速に対応します。緊急度の高い世帯に関しては、48時間にこだわらず速やかに方針を出して、安全確認や目視を行っています。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>母子健康手帳の交付のほか妊娠・出産・育児に関する相談及び情報提供を行う妊娠育児相談窓口を新に開設しました。妊娠・出産・子育てに関する乳幼児健康診査等の関わる機会を通じて予防接種も含め、妊娠婦や乳幼児の状況に応じた必要な情報提供及び関係機関と連携を行い、切れ目のない支援をしました。今後も引き続き、母子保健の充実を掲げた事業を実現するほか、保育ニーズを把握しながら保育・子育て環境を整えていきます。</p> <p>学童保育室については、可能な限り受け入れを行っていますが、定員を超えてしまった場合等は状況に応じて、小学校の協力を仰ぎ特別教室等を借用し保育を行っています。</p> <p>また、公営民営に限らず人手不足は課題となっていますので、国等の補助金を活用した処遇改善を行っています。</p> <p>なお、子ども医療費の助成については、JAとりで総合医療センターでの現物給付に向け、調整を行っています。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 3-2 子どもの成長に応じた発達への支援

主管課 : 子ども部 子ども相談課

関係課 : こども発達センター、教育相談センター

1. 目的

子どもとその家族が身近な地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。

2. 展開内容

家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	%	目標値		97	97	98	98	99	100
		実績値	96(R2)	97	98	97			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	未達成	<p>初回面接時に保護者のニーズを聞き取り、発達検査等でお子さんの発達状況や発達特性を把握し、保護者が適切に理解し受け入れられるように支援を行いました。その結果、早期に適切な相談・療育につなげることができました。こども発達センターの利用につながらなかったご家庭に対しては、民間の児童発達支援事業所を紹介することや、定期的に状況の確認や定期検査の連絡をしました。利用申請書の提出がなく、連絡が取れないご家庭については、保健センターなどの関係機関と連携を取り、状況把握に努めました。</p> <p>令和6年度初回面接数 307名 相談・療育につながった人数 298名</p>

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>初回面接時から丁寧な対応を心がけ、こども発達センターや民間事業所の相談や療育に97%のお子さんはつなぐことができましたが、目標値の達成はできませんでした。しかし、相談や療育につながった実数は、令和5年度246名、令和6年度は298名と52名増加しており、0～6歳までの子どもの人口に対する相談や療育につながった割合は、令和5年度は約14.5%、令和6年度は16.4%と増加しています。以上のことから、早期に発見して、早期に療育を始めるということが結びついてきていると考えられます。今後も丁寧なかかわりを心掛け事業を推進していきます。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 3-3 魅力ある学校づくり

主管課 : 教育総務部 指導課

関係課 : 秘書広報課、教育総務部総務課、学校教育課、教育相談センター

1. 目的

確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
不登校児童生徒への対応率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
		実績値	100(R2)	100	100	100			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
不登校児童生徒への対応率	達成	個別に本人・保護者との面談を行う、家庭訪問を実施するなど、各校で根気強く対応している。ICTを活用しリモートでつながるケースも増えた。また、担任だけでなく、心の教室相談員や校内教育支援センター指導員、SC、SSWなど複数の職員が連携して対応するケースも多く見られた。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	子どもたちの個性や人権を尊重し、安全に安心して学校生活を送れるとともに、子どもたちに「生きる力」を付けることを目指し、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成するためのさまざまな具体的な取り組みを進めました。また、「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもを育成する取り組みを進めました。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 3-4 心豊かにする体験・活動の推進

主管課 : 子ども部 子ども支援課

関係課 : 文化・スポーツ課、図書館

1. 目的

子どもたちが将来に夢や希望をもち、心豊かに成長できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
あびっ子クラブ登録率	%	目標値		54.6	55.7	56.8	57.9	59.0	60.0
		実績値	53.5(R2)	52.14	54.4	53.96			
チャレンジタイムの平均実施回数	回	目標値		142.9	152.3	161.8	171.2	180.6	190.0
		実績値	133.5(R1)	184.0	190	157.9			
あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	%	目標値		8.33	8.52	8.70	8.88	9.07	9.25
		実績値	8.15(R1)	8.33	4.86	9.24			
げんきフェスタに参加した子どもの割合	%	目標値		5.16	5.28	5.39	5.51	5.62	5.73
		実績値	5.05(R1)	3.48	8.64	5.22			
学校への調べ学習支援件数	件	目標値		74	75	77	78	79	80
		実績値	73(R1)	42	48	43			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
あびっ子クラブ登録率	未達成	令和6年度からLINEによる電子申請での受付を開始したが、登録率に大幅な変化は見られませんでした。登録事務の作業時間数は減少しています。
チャレンジタイムの平均実施回数	未達成	サポーターの登録人数は微増しているものの実働人数は減少しており、それに伴い平均回数も減少しています。子ども達の豊かな経験を促すため新たなサポーター登録者を増やす必要があると考えます。
あびっ子どもまつりに参加した子どもの割合	達成	車での来場者が増加していることから、更なる公共交通機関利用の啓発と駐車場の確保が課題となります。
げんきフェスタに参加した子どもの割合	未達成	前年比減でしたが、目標はほぼ達成となりました。 車での来場者が増加していることから、更なる公共交通機関利用の啓発と駐車場の確保が課題となります。
学校への調べ学習支援件数	未達成	調べ学習の内容は変遷するため、授業に利用できる資料が学校図書館にあるかどうかで、市民図書館資料を積極的に利用するかが左右されることもあると推測されます。したがって、目標値に達していないのは、学校図書館が充実してきたとも考えられます。今後も移動図書館巡回による配本をもっと利用してもらうよう継続して声をかけていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	地域や学校と連携しながら、子ども達が様々な体験や活動に参加できる環境づくりに寄与しました。 あびっ子クラブは、子ども達が安心・安全に過ごせる場所の一つとして、事業を継続するとともに、子ども・子育て会議や子ども達からの意見聴取を参考に事業内容を検討します。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 4-1 企業立地の推進

主管課 : 環境経済部 企業立地推進課

関係課 :

1. 目的

多様な企業の誘致を進め、雇用機会の拡大を図ります。

2. 展開内容

企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
創出した産業用地で働く市民の数	人	目標値		0	0	0	0	0	50
		実績値	—	0	0	0			
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	件	目標値		0	1	2	2	2	5
		実績値	—	0	1	1			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
創出した産業用地で働く市民の数	達成	事業費の面から採算性が合わず事業者から撤退の意向が示されました。今後は現事業者から成果物を継承し、新たな事業者及び本地区の活用方法について検討を進めていきます。
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	未達成	産業用地整備の見通しが無いため、今後、目標達成の見込みはありませんが、新たに創出する産業用地以外での新規立地や再投資に関して支援を行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調とはいえない	<p>柴崎地区産業用地整備事業では、令和5年度に実施したボーリング調査等により発覚した盛土層に関して、全量入替又は分別再利用を行うなどの解消に向けた工法を検討しましたが、いずれの工法も多額の費用を要し、現計画で事業を進めた場合、採算が合わないことから、共同企業体から撤退の意向が示され、これを了承しました。</p> <p>計画地においては、課題はあるものの、国道6号に接し、駅からも近いという立地の優位性があることから、今後は、事業から撤退する共同企業体から、市が必要とする成果物を有償で引き受け、新たな事業手法を検討していきます。</p> <p>なお、施策指標である「創出した産業用地で働く市民の数」については、事業者の撤退等により、事業の見通しが立たなくなったため、新たな事業手法を検討する間、毎年の活動指標は設定しないものとしします。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 4-2 就労支援の充実

主管課 : 環境経済部 企業立地推進課

関係課 : 障害者福祉センター

1. 目的

働きたい人が働ける環境づくりを進めます。

2. 展開内容

関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	%	目標値		19.5	20.6	21.7	22.8	23.9	25.0
		実績値	18.4(R1)	21.5	22.9	23.4			
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	件	目標値		3	4	5	5	5	6
		実績値	3(R2)	3	3	4			
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
		実績値	100(R1)	100	94	87			
障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数	人	目標値		19	19	20	20	20	20
		実績値	19(R1)	6	6	4			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	達成	年間を通じて、有効求人倍率も比較的高い数値で推移したことにより、相談者の希望に沿った就職先の紹介を行うことができたものと考えます。
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	未達成	目標は未達成となりましたが、令和6年、新たに市内1事業者が「もにす認定」を受けました。
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	未達成	特別支援学校や就労移行支援事業所、相談支援事業所等の関係機関と連携し、職場訪問や相談対応等の定着支援を行いました。体調不良等の理由から3名の離職者が出ています。就労継続が難しくなった方に対してはご本人に適した環境の提案及び提供をするため、相談対応や関係機関への引継ぎ等の支援を行ってまいります。
障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数	未達成	以前は就労支援センターが就労準備訓練を行っていましたが、市内就労移行支援事業所の開設、チャレンジオフィスあびこ開設等によりサービスの提供を終了しました。近年は就労移行支援事業所による就労支援、就労定着支援の実施により、定着期間（3年6か月）の終了後に就労支援センターに登録をする流れが確立されつつあります。そのため、福祉就労から一般就労に移行した方48人のうち、当センターの登録者数は4人となっています。今後も就労移行支援事業所や相談支援事業等と連携し、役割分担しながら一般就労につながる支援を行ってまいります。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	令和6年10月に地域職業相談室をアビクオーレに移転しました。商業施設内の好立地移転したことで、気軽に入りやすいものとなったこともあり、利用者数は増加しています。 職住近接で職を求める方の需要も高いものと推察できることから、市内事業者にはハローワークを通じた求人優位性に関してアピールしていきたいと考えています。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 4-3 商工業の振興

主管課 : 環境経済部 商業観光課

関係課 : 企業立地推進課

1. 目的

地域経済を支える中小企業等への支援を行うとともに、起業・創業しやすい環境づくりを進めます。

2. 展開内容

中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
商店街団体等への年間支援件数	件	目標値		16	17	17	17	17	18
		実績値	16(R2)	16	20	19			
市内の事業者数（納税義務者数）	件	目標値		4,360	4,408	4,456	4,532	4,577	4,600
		実績値	4,312(R2)	4,471	4,644	4,657			
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	件	目標値		65	76	88	100	111	123
		実績値	53(R2)	73	78	90			
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数（平成30年度からの延べ件数）	件	目標値		20	26	32	38	44	50
		実績値	14(R2)	19	22	23			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
商店街団体等への年間支援件数	達成	商店街をアピールする事業として、湖北の市や和太鼓まつりなどに加えて、天ちゃん着ぐるみ製作など今までにない新しい取り組みをする商店会もありました。各商店会の努力と工夫を促し住民生活と商業活動の間に良い関係を見つぐための持続可能な商業振興を実現する要の制度として、引き続き活用の推進に努めます。
市内の事業者数（納税義務者数）	達成	新型コロナウイルスが令和5年5月に5類へと移行したことで令和5年度に事業者数が大幅に増加し、今年度は微増ではあるものの、順調に推移していると考えています。
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	達成	令和5年度から開始した我孫子市商工会において展開する女性起業支援ラボの受講生が起業するなどの効果も有り、目標を達成しました。
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数（平成30年度からの延べ件数）	未達成	コロナ禍において受けた融資などを返済中の事業者もいることから、新たな借入による設備投資を検討する事業者が少なくなったものと考えます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>新型コロナウイルスが5類へと移行されて以降、市内事業者数は順調に推移していると考えています。また、商店会では、着ぐるみを作成するなど、新しい取り組みが出てきたことも良い傾向と考えます。</p> <p>創業支援関連事業に関しては、商工会との密接な連携の下、創業しやすい環境が充実してきたことが目標達成の要因となっているものと考えます。</p> <p>現状、市内事業者の傾向として設備投資よりも運転資金が多いものとなっていますが、コロナ禍におけるゼロゼロ融資の返済が終わるとともに設備投資に関しても増えていくことを期待しています。創業者も含む市内事業者には、市の制度融資、商工会を通じた政策金融公庫融資など多様な資金調達方法を選択できるよう、市として支援を行っていきたいと考えます。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 4-4 農業の振興

主管課 : 環境経済部 農政課

関係課 :

1. 目的

農業の生産性向上と持続的な発展を図るための環境づくりを進めます。

2. 展開内容

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
農地利用集積面積	ha	目標値		294.6	313.7	332.8	351.9	371.0	390.0
		実績値	275.5(R2)	278.3	310.7	349.4			
新規就農者の経営体数	人	目標値		22	24	27	29	31	33
		実績値	20(R2)	23	24	24			
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	人	目標値		32	34	36	38	40	42
		実績値	29(R2)	27	30	27			
農産物直売所年間売上	千円	目標値		230,895	236,716	242,537	260,000	260,000	260,000
		実績値	225,074(R1)	272,626	276,445	297,269			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
農地利用集積面積	達成	地域計画の策定を契機として担い手農家の整理を進め、農地の集積を図ったことにより、目標値を上回った。今後も地域計画達成のための取り組みと併せ、集積・集約を促進していく。
新規就農者の経営体数	未達成	R6に新たに経営を開始した経営体はいないものの、新規就農希望者に対し、営農計画の作成をはじめとする就農準備支援を行ったことにより、R7以降に複数経営体が就農を予定している。引き続き、新規就農希望者の支援をはじめ、就農後の経営が継続できるよう関係各所との連携により支援を図っていく。
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	未達成	認証品目は増加傾向にあるが、取り組み農業者は目標値に達しなかったため、今後も第2次あびこエコ農業推進基本計画に沿ってPRを進めていく。
農産物直売所年間売上	達成	生育や需給状況による米や野菜単価の上昇、物価高騰に伴う加工品やレストランの販売価格の値上げによる影響から、売上増加となった。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新等を行い農業生産基盤の維持強化に取り組みました。</p> <p>農業の持続的な発展については、地元産農産物の付加価値の向上や地産地消の推進を図るため、生産者と連携しながら、農業拠点施設を軸とした市内外のイベントを通して消費者と農業者との交流やあびこエコ農産物のPRを実施しました。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称： 4-5 交流・関係人口の拡大

主管課： 環境経済部 商業観光課

関係課： 企画政策課、手賀沼課、農政課、公園緑地課、文化・スポーツ課

1. 目的

手賀沼をはじめとする地域資源を活用し、多くの人々に親しまれる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
観光イベント来場者数	人	目標値		232,250	232,500	232,750	233,000	233,300	233,500
		実績値	232,000(R1)	32,000	224,000	228,000			
観光関連施設来場者数	人	目標値		510,066	512,753	515,440	518,900	521,500	523,500
		実績値	507,379(R1)	527,195	535,746	496,594			
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数	人	目標値		209	217	226	250	250	250
		実績値	201(R2)	243	261	306			
ふれあいキャンプ場利用者数	人	目標値		8,942	9,153	9,365	9,577	9,789	10,000
		実績値	8,730(H30)	5,682	5,293	6,816			
観光意欲度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		736	709	682	655	628	600
		実績値	764(R3)	837	840	880			
観光意欲度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		15.8	16.2	16.5	16.8	17.2	17.5
		実績値	15.5(R3)	14.7	14.5	13.6			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
観光イベント来場者数	未達成	花火大会では来場者数19万人と大いに賑わった。JBF、カップまつり、産業まつりでは天候に恵まれずに来場者数は伸びなかったため減少した。 今後も、我孫子市を商業観光まちづくり大綱に基づいて持続可能な観光振興目指し、さらなる効果的な取り組みを進めていきたい。
観光関連施設来場者数	未達成	全施設において令和5年度の来場者数から減少し、令和6年度目標値以下の数値となりました。要因としては、白樺文学館と鳥の博物館がそれぞれ約5か月間休館したことや新型コロナの5類移行後の外出の落ち着きなどが考えられます。
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数	達成	市外参加者の増加については、手賀沼周辺を走る魅力、競技だけでなく嗜好を凝らしたイベント内容が要因と考えられます。今後は、現在の参加人数を超えると参加者の安全性が担保できなくなる可能性があります。水の館全体の賑わいを生むような仕組みづくりを市内事業者等と連携して取り組む必要があります。
ふれあいキャンプ場利用者数	未達成	近隣市や民間施設での同様の施設があるなかで、利用者が増加したことはキャンプ需要がまだまだ高いことがわかる。令和5年度より利用者の利便性の向上を図るため、LINE申請を導入し市外利用者も利用しやすい環境が整った。ただし、当該施設は開設から32年が経過し設計が古いため、今後収入増を図るうえでは、施設改修を図り、利用料金の見直しを行う必要がある。今後は、利用者の増加にむけて、現在閉鎖している11月から3月までの宿泊キャンプを令和7年11月より開始し、利用者増及び収入増を図っていききたい。また、管理運営体制の見直しを検討していきます。
観光意欲度（地域ブランド調査順位）	未達成	本データは、地域毎に異なる資源状況を考慮していないため、市の取り組みが反映されにくい指標となっています。アピシルベの指定管理業務において、DMOの形成を目指すため、令和6年度からアピシルベやウェブサイト、各種イベント等で観光客の域内消費額や満足度、課題などについて詳細なアンケートを開始しています。今後は、この結果を指標とするなど、より正確に観光意欲度を把握できる方法を探るとともに、手賀沼という観光資源を活用して地域の魅力向上が図れるよう、柏市などと連携していきます。
観光意欲度（地域ブランド調査点数）	未達成	本データは、地域毎に異なる資源状況を考慮していないため、市の取り組みが反映されにくい指標となっています。アピシルベの指定管理業務において、DMOの形成を目指すため、令和6年度からアピシルベやウェブサイト、各種イベント等で観光客の域内消費額や満足度、課題などについて詳細なアンケートを開始しています。今後は、この結果を指標とするなど、より正確に観光意欲度を把握できる方法を探るとともに、手賀沼という観光資源を活用して地域の魅力向上が図れるよう、柏市などと連携していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	観光イベントではJBFやカップまつり、新産業まつりなど、天候に恵まれなかったイベントがあり来場者数に影響しましたが、目標を達成することができました。ふれあいキャンプ場については、目標は未達となりましたが、LINE申請の導入により前年度より増加しました。 令和6年度からアピシルベやウェブサイト、各種イベント等で観光客の域内消費額や満足度、課題などについて詳細なアンケートを開始しているため、より正確に分析した上で、手賀沼という観光資源を活用した地域の魅力向上を図っていきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 5-1 適正な土地利用の推進

主管課 : 都市部 都市計画課

関係課 : 建築住宅課、市街地整備課

1. 目的

良好な自然環境を保全しつつ、継続的にまちが発展できる土地利用を進めます。

2. 展開内容

現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。

また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
指標なし		目標値							
		実績値							

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
指標なし		

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>まちの活力の向上につながる商業観光関連施策に基づき、必要な土地利用の誘導のための都市計画手続きを実施しました。今後の具体的な施設の立地にあたっては、法令等とともに施策との適合性を確認していく必要があります。</p> <p>土地利用の規制や誘導は、各部門の関連計画の推進熟度にも影響されるため、各々の段階に応じた取り組みに合わせた支援を行い、実現に向け推進していきます。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上

主管課 : 都市部 建築住宅課

関係課 : 都市計画課

1. 目的

誰もが暮らしやすい良好な住環境と魅力的なまちなみの保全・形成を進めます。

2. 展開内容

手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。
また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市営住宅の入居率	%	目標値		93.2	94.5	95.9	97.3	98.7	100
		実績値	91.8(R2)	89.2	90.5	89.8			
空き家バンク累計登録件数	件	目標値		10	15	21	27	33	38
		実績値	4(R2)	10	12	21			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市営住宅の入居率	未達成	<p>令和3年度に策定した第四次総合計画の前期基本計画において、市営住宅の入居率を令和9年度に100%とする目標値を設定しましたが、令和5年3月に策定した我孫子市公営住宅等長寿命化計画では、調査の結果すべての団地で給排水管等の劣化が進行していることが分かったため、長寿命化のための改善工事を順次行うこととしました。</p> <p>改善工事を行うにあたり入居者の一時的な移転先として必要な空き住戸を計画的に確保することとしたため、入居率が上がらない状況です。</p> <p>今後は、改善工事のための空き住戸を確保しつつ、募集が可能な住戸については例年2回実施している定期募集を実施します。また、定期募集で応募がなかった住戸については、令和7年3月から随時募集を開始し、入居率向上を図る取り組みを始めました。</p> <p>目標を達成することは難しい状況ですが、今後も入居率が向上するよう取り組んでいきます。</p>
空き家バンク累計登録件数	達成	<p>課税通知に同封している空き家バンクのチラシを目立つようカラーにしたり、内容をポジティブな表現に工夫したこと等により、目標を達成することができました。今後も目標達成に向けて、市ホームページやSNSを活用した周知活動を実施していきます。</p>

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我孫子市公営住宅等長寿命化計画に基づく給排水管等の改善工事の実施にあたり、入居者の一時的な移転先として、必要な空き住戸を計画的に確保することとしたため入居率が上がらない状況ですが、入居率向上に向けた新たな取り組みとして、定期募集で申し込みがなかった住戸の随時募集を令和7年3月から実施し、年度内に1戸の入居が決定したことから、随時募集が有効な手法であると考え、ほぼ順調と評価しています。引き続き計画的な市営住宅の管理運営に努めていきます。 ・ 空き家バンク制度の周知を工夫し、空き家の積極的な活用を促すとともに、住まいに係る各種支援、情報提供なども継続して実施していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 5-3 公共交通の利便性向上

主管課 : 建設部 交通政策課

関係課 : 企画政策課

1. 目的

誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境を充実します。

2. 展開内容

誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
JR成田線の1日の往復本数	本	目標値		42	42	42	42	42	42
		実績値	40(R2)	40	40	40			
JR常磐線駅ホームドアの累計設置数	基	目標値		0	2	5	5	5	5
		実績値	0(R2)	0	2	5			
あびバスの延べ利用者数	人	目標値		207,869	210,295	212,721	215,147	217,573	220,000
		実績値	205,443(R1)	178,279	194,273	209,137			
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	人	目標値		16,841	17,073	17,305	17,537	17,769	18,000
		実績値	16,609(R2)	15,296	15,402	15,448			
東海道線との相互乗り入れ往復本数	本	目標値		1	1	1	1	1	1
		実績値	0(R2)	0	0	0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
J R成田線の1日の往復本数	未達成	成田線の増便については厳しい状況ですが、引き続きJR東日本に対して要望していきます。
J R常磐線駅ホームドアの累計設置数	達成	令和6年度に我孫子駅の緩行線（6・7・8番線）で使用開始となっている。今後の快速線への設置については、早期に設置できるようにJR東日本へ要望していきます。
あびバスの延べ利用者数	未達成	コロナが落ち着いてきた現状に鑑み、利用者数はコロナ前の水準に戻ったと考えている。今後は、より委託運行事業者と連携し、利用者増に向けた啓発を行っていきます。
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	未達成	目標数値に届かなかったが、ほぼ目標数値に近い実績と考えています。今後も印西市と連携し利用者増に向けた啓発を行っていきます。
東海道線との相互乗り入れ往復本数	未達成	上野東京ラインから東海道本線への直通運転について、引き続きJR東日本に対して要望していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	公共交通の利用者は、回復傾向にはあるもののコロナ前の水準には戻っていない現状です。公共交通を維持していくためバス・タクシーの利用者数をコロナ前の水準並みにすることや公共交通の運転手が確保できるように公共交通事業者と連携し、支援していかなければならないと考えています。 鉄道の利便性向上については、JR東日本に対する要望活動や成田線沿線の活性化に向けた取り組みを実施しており、今後も継続していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 5-4 安全で快適な道路の整備

主管課 : 建設部 道路課

関係課 : 都市計画課、交通政策課

1. 目的

誰もが安全で円滑に移動できる道路環境の整備を進めます。

2. 展開内容

さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
都市計画道路の整備率	%	目標値		59.4	59.6	59.9	60.2	60.4	60.6
		実績値	59.2(R2)	59.4	59.4	59.5			
道路瑕疵による賠償件数	件	目標値		4	3	2	1	1	0
		実績値	5(R2)	2	1	1			
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	箇所	目標値		7	8	8	9	9	10
		実績値	6(R3)	6	6	5			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
都市計画道路の整備率	未達成	平成30年に事業認可を取得した都市計画道路3・4・9号下ヶ戸・中里線外1線の整備において、都市計画道路3・4・9号下ヶ戸・中里線の約100m区間の工事を行い、供用開始となりました。今後は、残りの都市計画道路3・4・10号線の整備に向けて、引き続き業務を進めていきます。
道路瑕疵による賠償件数	達成	事故発生から相手方との過失割合の交渉もあり、時間を要する場合がありますが、速やかに完了できるように事務を進めていきます。
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	未達成	ボランティア団体へ参加団体としての登録を促し、新規登録を増やすための勧誘を引き続き進めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>土谷津地区の第一・第二工区の道路整備について、拡幅工事が完了しました。また、下ヶ戸・中里線も一部区間で道路改良工事が完了し、供用を開始しました。</p> <p>半面、下新木踏切は地権者との交渉の難航により遅延が生じている路線について、早期の事業完了に向けて、引き続き協議・交渉を継続していきます。</p> <p>アダプトプログラムについては、SNSや広報あびこによる情報発信を行いました。新規団体の加入には繋がりませんでした。広報の内容を充実させ、活動に魅力を感じて貰うことにより、引き続き団体数増加へ向けた働きかけを継続していきます。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 5-5 利用したくなる公園の整備

主管課 : 都市部 公園緑地課

関係課 :

1. 目的

誰もが使いやすく、過ごしやすい公園づくりを進めます。

2. 展開内容

市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公園・緑地の面積	ha	目標値		150	150	150	150	150	150
		実績値	150(R2)	150	150	150			
市民手づくり公園の活動団体数	団体	目標値		11	13	14	15	17	18
		実績値	10(R2)	10	9	9			
市民手づくり公園の数	園	目標値		13	15	16	18	19	20
		実績値	12(R2)	12	11	11			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
公園・緑地の面積	達成	良好な維持管理を継続し、公園の魅力向上や更なる利活用を促進しました。引き続き、巡視や確認を行い、誰もが安全・安心に利用できるよう公園の適正な維持管理に努めていきます。
市民手づくり公園の活動団体数	未達成	令和6年度も9団体11公園で良好な公園活動を行いました。引き続き、市民手づくり公園活動を広げるためホームページ等で活動団体、公園を募集していきます。
市民手づくり公園の数	未達成	令和6年度も9団体11公園で良好な公園活動を行いました。引き続き、市民手づくり公園活動を広げるためホームページ等で活動団体、公園を募集していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>市内にある公園の多くが、設置後30年以上が経過していることから、施設の修繕や更新など老朽化に対する対応が急務となっており、維持管理費の増加が見込まれています。</p> <p>また、「市民手づくり公園」について、活動していただいているボランティアの高齢化が進み団体数が減少している現状を踏まえ、ホームページやSNS等により幅広い世代へ事業のPRを更に進める必要があります。</p> <p>今後も誰もが安全に安心して利用できる公園の整備や維持管理に努め、市民と協働しながら特色ある公園づくりを進めていきます。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称：5-6 下水道の整備と普及

主管課：建設部 下水道課

関係課：

1. 目的

衛生的で快適な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的な整備と維持管理を進めます。

2. 展開内容

衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。

また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
下水道の整備率	%	目標値		57.5	57.9	58.4	58.8	59.2	59.6
		実績値	57.1(R2)	57.6	57.8	58.0			
下水道の普及率	%	目標値		85.07	85.53	86	86.5	86.9	87.4
		実績値	84.6(R2)	84.9	85.2	85.4			
重要な管渠の地震対策実施率	%	目標値		43.8	49.6	55.4	61.2	67.0	72.8
		実績値	38(R2)	47.8	47.8	47.8			
水洗化率	%	目標値		99.03	99.04	99.05	99.05	99.06	99.07
		実績値	99.02(R2)	99.16	99.09	99.05			
経常収支比率	%	目標値		112.0	113.0	114.0	115.0	116.0	117.0
		実績値	111.0(R2)	113.1	111.9	112.7			
下水道使用料の徴収率	%	目標値		99.50	99.51	99.52	99.53	99.54	99.55
		実績値	99.49(R2)	99.6	99.62	99.64			
受益者負担金の徴収率	%	目標値		99.03	99.04	99.06	99.07	99.09	99.10
		実績値	99.01(R2)	95.52	97.18	98.47			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
下水道の整備率	未達成	公共下水道整備事業を概ね計画どおり進めることはできているものの、開発行為に伴う面積の増が見込みを下回ったことなどにより、R6年度実績では目標値をやや下回る結果となりました。引き続き、計画どおり事業を進め、未普及解消に取り組んでいきます。
下水道の普及率	未達成	公共下水道整備事業を概ね計画どおり進めることはできているものの、従前に比べて人口密度が相対的に低い地域の整備に移行してきていることや、人口増減の具合による影響もあり、R6年度実績では目標値をやや下回る結果となりました。引き続き、計画どおり事業を進め、未普及解消に取り組んでいきます。
重要な管渠の地震対策実施率	未達成	R6年度は耐震診断および詳細設計の実施となったことから地震対策実施率は前年度と同値となり、目標値を下回る結果となりました。R7年度以降は、第IV期計画に沿って事業を進めるものとし、引き続き、重要な管渠の耐震性能確保に取り組んでいきます。
水洗化率	達成	新規整備エリアにおける下水道接続を促す案内文の配布や戸別訪問による工事説明を行うとともに、広報やHPを通じた下水道接続の啓発などにより、R6年度は目標を達成することができました。市の水洗化率は既にかなり高い水準にありますが、今後もこの水準の維持・向上に努めていきます。
経常収支比率	未達成	予定費用及びその財源を適切に予算計上・執行し、経常費用を経常収益で賄うことができおり、営業外収益の増などによって前年度数値は上回ったものの、R6年度は目標を下回る結果となりました。計画的な修繕・更新の実施による費用の平準化や経常的な経費のさらなる縮減に努めるとともに、水洗化率の向上や使用料の適正化など、収益改善に向けた取り組みを進めていきます。
下水道使用料の徴収率	達成	下水道使用料は水道料金と共に徴収しており、水道使用者からは高い徴収率となっているため、R6年度は目標を達成することができました。しかし、井戸利用者からの徴収が滞納になりやすい状況にあるため、滞納している下水道使用者に対して、引き続き督促・催告を地道におこなっていきます。市の下水道使用料徴収率は既にかなり高い水準にありますが、今後もこの水準の維持・向上に努めていきます。
受益者負担金の徴収率	未達成	受益者への説明を丁寧に行い、徴収率は前年度よりも改善しましたが、一部の受益者からの負担金納入が滞り、R6年度は目標を達成することができませんでした。滞納者に対して、粘り強く催告を行い早期回収に努めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほほ順調	<p>下水道事業の経営は、人口減少が進む中、下水道整備や既存施設の老朽化に伴う改築更新など継続して投資を行う必要があり、厳しい経営環境となることが懸念されています。</p> <p>引き続き安定的に事業を行うため、経営状況を的確に把握したうえで経営戦略に基づき、中長期的な視点から計画的な経営に取り組み、定期的な検証・評価を次の見直しに繋げることで持続可能な下水道サービスの実現に努めます。</p> <p>水洗化率、下水道使用料の徴収率については令和6年度の目標値を達成したものの、経常収支比率、受益者負担金の徴収率は前年度に続き目標を下回る結果となっており、引き続き、経常的な経費のさらなる縮減に加え、水洗化率の向上や使用料の適正化などの収益改善に向けた取り組みを進めるとともに、滞納対策に注力し、財源の確保に努めていきます。</p> <p>厳しい経営環境のなか、下水道整備率と普及率の大幅な向上は難しい状況にありますが、限られた財源を有効活用し、着実に未普及地区の整備を進めていきます。</p> <p>既設下水道施設については、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に修繕・改築を実施していくとともに、官民連携の導入に向けた検討を進め、持続可能な下水道事業運営の確保に取り組んでいきます。</p> <p>地震対策では、水道事業と連携しながら既存施設の耐震化を実施し、避難所へのマンホールトイレ設置を計画的に進め、災害に強い都市基盤の整備を推進します。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 5-7 安全な水道水の安定供給

主管課 : 水道局 経営課

関係課 : 工務課、生活衛生課

1. 目的

水道の基盤を強化し、将来にわたり安全な水道水を供給します。

2. 展開内容

業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。

また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経常収支比率	%	目標値		115.0	115.0	115.0	115.0	115.0	115.0
		実績値	115.1(R2)	110.6	110.6	107.5			
料金回収率	%	目標値		106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0
		実績値	106.6(R2)	100.1	98.9	95.6			
有効率	%	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	95.0(R2)	93.3	92.4	93.4			
管路耐震適合化率	%	目標値		45.2	46.3	47.50	48.6	49.8	51.0
		実績値	44.0(R2)	45.6	46.5	50.7			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
経常収支比率	未達成	事業費用の増加により、目標値及び令和5年度の数値を下回りました。より効率的な事業経営に努めるほか、現行の事業規模に対し、適正な水道料金であるか、検証、見直しを行い、経常収支比率の向上に努めます。
料金回収率	未達成	事業費用の増加により、目標値及び令和5年度の数値を下回りました。より効率的な事業経営に努めるほか、現行の事業規模に対し、適正な水道料金であるか、検証、見直しを行い、料金回収率の向上に努めます。
有効率	未達成	目標は未達成ですが、水道管路の更新事業の着実な実施により、昨年度よりも数値が向上しました。今後は目標値に到達できるよう、更新工事のさらなる実施や、漏水防止について、局独自で取り組みを実施します。
管路耐震適合化率	達成	水道事業基本計画に基づき更新を行いました。今後も計画に従い更新を行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	水道事業経営をとりまく環境の変化や、近年頻発している自然災害に対応した施設の更新及び体制の強化が強く求められている現在において、今後、増大していく老朽化施設の更新事業を確実に実施するためには、中長期的な視点に立った水道ビジョンを新たに策定する必要があると考えます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 6-1 地球環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : 生活衛生課

1. 目的

環境への負荷を減らし、地球環境にやさしいまちづくりを進めます。

2. 展開内容

地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めていきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市の事務事業を通して排出されるCO2の量	t-CO2	目標値		26,955(R3)	26,182 (R4)	25,408(R5)	24,635(R6)	23,862(R7)	23,862(R7)
		実績値	27,728(R2)	26,512(R3)	24,573(R4)	26,076(R5)			
1人1日当たりの総ごみ(可燃・不燃・資源)排出量	g	目標値		808.00	806.00	804	803	801	799
		実績値	842 (R2)	801.4	781	790			
最終処分量	t	目標値		3,000	2,928	2,856	2,783	2,711	2,639
		実績値	3,377 (R2)	2,663	2357.52	1707			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市の事務事業を通して排出されるCO2の量	未達成	温室効果ガス排出量のうち6割近くを占めている廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の削減が課題であるため、今後市民に向けてもごみの削減を広く呼び掛けていく必要があります。また、燃料使用による温室効果ガス排出量についても、再び目標達成に向けて積極的に推進していく必要があります。
1人1日当たりの総ごみ（可燃・不燃・資源）排出量	達成	排出量について、R6目標値よりも減少しており、目標を達成することができました。引き続き、目標達成に向けた方策を適切に実行し、排出量の減少及び再生利用量の増加に努めていきます。
最終処分量	達成	最終処分量について、目標より実績は大きく減少しました。要因としては、できる限り、資源化をできるところに委託しているため、減少していると考えます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	温室効果ガス排出量のうち6割近くを占めている廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の削減が課題であるため、今後市民や事業者に向けてごみの削減を広く呼び掛けていく必要があります。また、燃料使用による温室効果ガス排出量については順調に削減が進んでいますが、引き続き目標達成に向けて積極的に推進していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 6-2 自然環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : 生活衛生課、治水課、公園緑地課

1. 目的

水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てます。

2. 展開内容

市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。

手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
手賀沼のCOD年平均値	mg/L	目標値		7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7 (R7)
		実績値	10.0 (R2)	10.1	9.8	10.7			
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	種	目標値		18以下	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		実績値	18(R2)	18	20	20			
緑の確保量	ha	目標値		1,573	1,579	1,584	1,590	1,595	1,600
		実績値	1,566(R2)	1,562	1,561	1,560			
手賀沼清掃参加団体	団体	目標値		19.00	19.00	19.00	19	19	19
		実績値	19 (R1)	19	14	16			
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	回	目標値		7	7	7	7	7	7
		実績値	7 (R2)	7	7	7			
みどりのボランティア登録者数	人	目標値		432	455	479	503	527	550
		実績値	408(R2)	458	522	537			
古利根沼水辺清掃参加者数	人	目標値		20	22	24	26	28	30
		実績値	18(R2)	15	20	0			
利根川河川清掃参加者数	人	目標値		113	114	116	117	119	120
		実績値	111(H30)	82	87	78			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
手賀沼のCOD年平均値	未達成	手賀沼の水質は横ばいの状況が続いており、環境基準の達成はできていないことから、千葉県や近隣市町及び市民団体などと協力しながら、水質浄化事業や啓発活動を実施していく必要があります。なお、手賀沼ふれあい清掃では、3団体が新規で参加しました。
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	未達成	令和5年度よりアメリカザリガニ及びミシシippアカミミガメが条件付き特定外来生物に指定されたため、達成には至りませんでした。 市民の目撃情報等に対し、速やかに対応し、生態系の環境保全に取り組んでいきます。
緑の確保量	未達成	生産緑地や保存緑地の解除により、緑の面積の減少が進んでいます。今後、緑地が増大するうえで施策等を検討していきます。
手賀沼清掃参加団体	未達成	荒天等により、一部の事業が中止することもあったが、2回実施した手賀沼清掃に16団体が参加した。
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	達成	市民対象の自然観察会や環境啓発を目的とした広報誌の発行、市内のイベントへの出展等について支援しました。 なお、令和6年度の活動をもって環境レンジャーは解散しました。
みどりのボランティア登録者数	達成	令和6年度に天王台西公園内の空き花壇の管理を募ったところ、我孫子中学校関係者等の方々がボランティアに登録し、活動を行いました。今後も公園や緑地の保全活動のためにボランティア登録数の増大に努めていきます。
古利根沼水辺清掃参加者数	未達成	令和6年度は悪天候により中止となりましたが、令和7年度も古利根沼の保全を守るため、水辺清掃を実施します。
利根川河川清掃参加者数	未達成	参加人数の増加を図るため、広報あびこや自治会への呼びかけに加え、SNSを活用して情報発信を行いました。今後も河川への理解を深める取り組みとして、イベントの周知に注力し、さらなる参加者増加に向けた検討を進めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	手賀沼のCOD値は、依然高い数値が続いています。また水質とともにナガエツルノゲイトウなどの特定外来種の繁茂は、生態系にも深刻な影響を及ぼすことから早急な対応が必要です。引き続き事業者や行政、市民で広域的な取り組みを推進し環境保全活動を推進していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 6-3 生活環境の保全

主管課 : 環境経済部 生活衛生課

関係課 : 商業観光課、手賀沼課

1. 目的

快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めます。

2. 展開内容

清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地下水水質環境調査における環境基準達成率	%	目標値		83.3	86.7	90.0	90.0	90.0	100
		実績値	80.0(R2)	70.0	60.0	80.0			
市内の騒音環境基準達成率	%	目標値		81.50	85.20	88.9	90.0	90.0	100
		実績値	77.8(R2)	83.3	78.6	81.3			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
地下水水質環境調査における環境基準達成率	未達成	植物用の肥料等に含まれる硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準超過した井戸が複数あったため達成には至りませんでした。引き続き、市内の地下水汚染状況の把握に努め、基準超過している井戸については必要に応じて監視を行います。
市内の騒音環境基準達成率	未達成	国道6号線及び市道00-02号線手賀沼ふれあいラインの交通騒音による環境基準超過があったため、達成には至りませんでした。引き続き、市内の騒音状況を把握するとともに地域住民の生活に支障をきたしている場合は、当該結果を用いて対応していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めています。今後も、生活環境に問題が生じないよう環境基準のモニタリングを継続していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 7-1 生涯学習の推進

主管課 : 生涯学習部 生涯学習課

関係課 : 鳥の博物館、図書館

1. 目的

市民が、地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
図書館の年間貸出冊数	冊	目標値		985,773	988,619	991,464	994,309	997,155	1,000,000
		実績値	982,928(R1)	924,715	883,337	84,7107			
図書館利用の登録率	%	目標値		35.6	35.9	36.3	36.6	36.9	37.3
		実績値	35.3(R2)	27.0	29.4	38.0			
我孫子地区公民館の年間利用率	%	目標値		61.0	61.5	62.0	62.5	63.0	63.5
		実績値	60.5 (R1)	56.8	57.4	55.1			
湖北地区公民館の年間利用率	%	目標値		45.5	46.0	46.5	47.0	47.5	48.0
		実績値	45.0 (R1)	42.4	43.3	41.3			
公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	人	目標値		9,672	9,717	9,763	9,808	9,854	9,900
		実績値	9,626 (R1)	6,916	6,638	6,655			
鳥の博物館年間来館者数	人	目標値		33,020	33,416	33,812	34,208	34,604	35,000
		実績値	32,624(R1)	27,405	24,971	25,881			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
図書館の年間貸出冊数	未達成	貸出利用者の年齢層とその貸出冊数を分析すると、若年層一人の貸出冊数は多いが、高齢者層一人の貸出冊数は少ない状況です。しかし、利用者としては高齢者層が多く、全体としての貸出冊数減につながっていると分析できます。若年層の図書館利用に注力していく必要があります。
図書館利用の登録率	達成	市内小中学校の児童・生徒に対し、電子図書館をスムーズに利用できるよう、図書館の利用登録を行ったため目標値を大きく上回りました。登録率は、毎年度実施する3年未利用登録の削除作業を行うと一時的に上下動しますが、市民の利用登録を増やせるようPRを積極的に実施していきます。
我孫子地区公民館の年間利用率	未達成	年間利用率は前年度より少し下がり、目標未達成となっていますが、利用者数は、前年度より約2,500人増加しています。登録団体数が少し減少していますが、これはコロナ禍以降、これまで活動してきた高齢者団体の中には、活動中止や休止した団体もあり、活動自粛傾向が続いていることなども考えられます。 また、学習室の利用抽選には多くの申し込みがありますが、落選率が高い曜日・時間帯があり、人気が高い学習室、曜日、時間帯に利用が集中していることも要因の一つと考えます。 今後も、市民が快適に学習できるよう施設の維持管理や計画的な修繕を行うとともに、他市の取組事例なども研究し、利用団体の増加や利用率の向上を目指します。
湖北地区公民館の年間利用率	未達成	年間利用率は前年度より少し下がり、目標未達成となっています。令和6年度は、運営体制の変更により、自主事業の立ち上げにある程度時間を要したことも一因と考えます。 学習室別にみると、調理室や和室の利用率が前年度より下がりましたが、ホールの利用率は上がっています。また、時間帯別では、夜間の利用率は前年同様低い利用率となっています。 令和6年度、高齢者への配慮として、和室に机とイスを設置し、利用団体から好評であったことや、若い世代の居場所として、利用率が低い学習室を自習スペースとして開設するサービスをスタートしています。また、湖北小学校体育館が再開するまで、入学式や卒業式、音楽祭などの小学校行事については、湖北地区公民館を使用します。 今後も地域との連携やサービス向上に取り組むとともに、イベントや夜間の自主事業の充実を図り、利用率の向上を目指します。
公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	未達成	公民館学級・講座については、前年度より受講者数は少し減少しています。 主な要因としては、親の働き方の変化により、幼児や小学生の保護者が参加する講座の受講者が伸び悩んでいますが、受講した方の満足度は大変高いものとなっています。今後はニーズが高い講座の拡充などを進め、受講者数を増やすとともに、幼児、小学生の保護者世代の参加を促すためにSNS等を活用した情報発信の充実を図ります。 また、出前講座については、前年度とほぼ同じ受講者数となっています。今後も出前講座の講師や講座数の充実を図り、市民の主体的な学習を支援していきます。
鳥の博物館年間来館者数	未達成	入館者数が前年同月よりも増加している月が多い（例えば5月では前年度比1,214人増加）ですが、施設設備工事の実施により令和6年11月5日から令和7年3月31日まで臨時閉館としていたため、目標値を達成できませんでした。令和7年度は工事の関係で1週間ほど休館の見込みの予定がありますが、ほぼ通常通りの営業となるため、より入館者数を増やすことができるよう情報発信に努めるとともに、イベントを積極的に行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	図書館では、電子図書館サービス開始に伴い、市内の小中学生の利用登録を行ったため、目標を大きく達成することができました。鳥の博物館では、施設修繕による休館が必要となったことにより、指標を達成することができませんでした。今後も施設の利用環境整備を進めるとともに、学習情報や学習機会の充実、学習活動の支援を通して、生涯学習の推進を図っていきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称： 7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興

主管課： 生涯学習部 文化・スポーツ課

関係課： 生涯学習課

1. 目的

歴史文化財を次世代に継承していくとともに、文化・芸術の振興を図ります。

2. 展開内容

歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。
誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
文化芸術団体が開催したイベント (後援等)の入場者数	人	目標値		46,614	47,091	47,567	48,000	48,500	49,000
		実績値	46,137(R1)	33,466	37,786	35,413			
市民文化祭の来場者数	人	目標値		14,462	15,169	15,877	16,500	17,500	18,000
		実績値	13,754(R1)	6,350	9,777	9,456			
めるへん文庫の応募者数	人	目標値		138	150	163	175	185	200
		実績値	125(R2)	130	99	127			
郷土芸能祭の入場者数	人	目標値		256	265	274	280	290	300
		実績値	247(R1)	179	250	300			
文化財施設等の年間見学者数	人	目標値		16,824	17,159	17,495	17,831	18,167	18,500
		実績値	16,489(H30)	12,571	14,748	10,984			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
文化芸術団体が開催したイベント（後援等）の入場者数	未達成	目標を達成することが出来ませんでした。今後も目標値に近づけるよう、文化芸術団体と連携しながら実施していきます。
市民文化祭の来場者数	未達成	昨年度に引き続き、文化祭のプレイベントとして、「みんなの文化体験会」を実施しました。体験を通じて文化・芸術を身近に感じてもらい、興味を持ってもらえるように、今後も継続することを予定しています。また、SNS等を活用し文化祭の周知に努めましたが、未達成となってしまいました。引き続き市内の文化団体と連携しながら実施します。
めるへん文庫の応募者数	未達成	めるへん文庫の応募者数は目標数に達することはできませんでした。今後は、LINE申請を導入し市内外利用しやすい環境を整え応募者数の増加を目指します。今後も、より魅力あるイベントを開催するため関係機関等と連携しながら実施していきます。
郷土芸能祭の入場者数	達成	目標は達成することが出来ました。民俗芸能を伝承している団体から子どもの参加者が増えたことで、家族等の入場者が増えたことが要因と考えられます。会場の席数は250席のため、入れ替わりで300人となりました。今後の参加人数は、300人程度で留まることが予想されます。
文化財施設等の年間見学者数	未達成	湖北郷土資料室は湖北行政サービスセンター閉鎖のため、6月末をもって閉室、白樺文学館が6月1日から10月31日まで照明設備更新工事のため、閉館等で見学者数が減少したと考えられます。今年度は、市制55周年記念で行われる白樺文学館・杉村楚人冠記念館での展示・イベント、旧井上家住宅での新規イベントのほか、市民ガイドボランティアを各文化財施設に設置し、施設見学の満

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>連携など、新たな参加者の掘り起こしを試み、実績が上がり始めているため順調と評価しました。</p> <p>○発掘調査及び記録保存については、正確かつ迅速に調査を行い、その成果を様々な手法で市民に情報提供し、シビックプライドの醸成に寄与できたことから順調と判断しました。</p> <p>○文化財の保存と活用では、文化財を適切に保存しつつ、長寿大学などと連携して市民文化財ボランティアの養成に努め、市民協働して活用事業をすすめられたため順調と判断しました。</p> <p>○文化芸術活動の推進では、次世代を担う若い参加者をターゲットとしたイベントを開催し、大きな成果を上げたため順調と判断しました。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 7-3 スポーツの振興

主管課 : 生涯学習部 文化・スポーツ課

関係課 :

1. 目的

子どもから大人まで誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりを進めます。

2. 展開内容

誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境をつくるとともに、競技力向上への支援や指導者の育成、スポーツ施設の適正な維持管理と運営に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市民体育館の延べ利用者数	人	目標値		167,671	172,337	177,003	181,781	186,699	191,000
		実績値	163,005(R1)	151,377	156,863	159,274			
体育施設の延べ利用者数	人	目標値		79,150	83,320	87,490	91,864	96,457	100,000
		実績値	74,980(H30)	84,893	86,407	82,422			
市民体育大会の参加者数	人	目標値		3,270	3,616	3,962	4,358	4,794	5,000
		実績値	2,924(R1)	4,429	4,208	4,498			
チャレンジスポーツフェスタの参加者数	人	目標値		372	397	423	449	475	500
		実績値	346(R1)	377	428	247			
新春マラソンの参加者数	人	目標値		1,642	1,713	1,785	1,874	1,967	2,000
		実績値	1,570(R1)	1,105	885	992			
地域スポーツフェスタの参加者数	人	目標値		352	381	411	443	479	500
		実績値	322(R1)	220	214	253			
ファミリースポーツテストの参加者数	人	目標値		218	234	251	268	286	300
		実績値	201(R3)	99	122	120			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市民体育館の延べ利用者数	未達成	健康への関心の高まりを受けて、前年度実績（156,863人）よりも増加した。今後もソフト事業の充実を図るとともにイベントの周知の強化を行い、指定管理者との連携により魅力ある施設を目指します。
体育施設の延べ利用者数	未達成	雨天の影響を受けて利用者が減ってしまった。利根川ゆうゆう公園での空きスペースを利用し新たなニーズに対応できるよう、魅力ある施設を目指し、今後も適切な維持・管理を継続すると共に、スポーツ実施率を高める施策を展開します。
市民体育大会の参加者数	達成	参加者数は、目標値を達成することができた。今後も関係機関と連携し魅力ある大会づくりを展開していきます。
チャレンジスポーツフェスタの参加者数	未達成	3会場で行う予定でしたが、雨天により屋外会場の1会場が中止となったため、参加者が減となった。今年度は新たな取り組みの一つとしてNECグリーンロケッツ東葛の練習施設であるグラウンドを利用して、親子かけっこ&ラグビー教室を実施し好評を得た。今後も、NECグリーンロケッツ東葛をはじめとするプロスポーツチームと連携しながら魅力あるイベントを実施していきます。
新春マラソンの参加者数	未達成	目標値に達することができなかった。特に小学生の参加が思うように伸びなかった。学校単位での参加が厳しい状況から、スポーツ少年団等に参加要請するとともに、中央学院大学駅伝部や地元中学校出身で箱根駅伝に出場した選手との交流する機会を設け、今後とも魅力あるイベントづくりを目指し参加者を増やしていきたい。
地域スポーツフェスタの参加者数	未達成	子どもから大人まで障害の有無に関係なく誰もが参加できるスポーツイベントだが、障害をもった方の参加が思うように伸びなかった。学校へのチラシ配布やSNS等を活用して周知したが、参加数に反映できなかったため、スポーツ推進委員により障害者施設へのチラシ配布等を行うとともに、関係機関等連携し多くの方に参加して頂けるよう情報を積極的に発信していきます。
ファミリースポーツテストの参加者数	未達成	イベントの周知が行き届かなかったことが未達成の要因と考えられます。広報あびこやSNS等を活用して周知したが、特に高齢者の参加者数が思うように伸びなかったため、総合型地域スポーツクラブへの参加要請や、老人クラブ等への周知を行っていく。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>○スポーツを通じた交流人口の拡大については、新たなニーズを喚起し、参加者が増えたため順調と評価しています。</p> <p>○スポーツの奨励では、市内スポーツ関係者と連携してイベントを実施するとともに、部活動地域移行についても市民と協力しながら実証事業を開始できたことから、順調と評価しました。</p> <p>○体育施設の管理運営では、既存の施設を維持管理しながら新たな施設整備に乗り出すことができたため順調と評価しました。</p> <p>○スポーツを通じた交流人口の拡大では、だれでも気軽にスポーツイベントに参加しやすい環境づくりをすることができたため、順調と評価しました。</p>

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 8-1 男女共同参画の推進

主管課 : 市民生活部 市民協働推進課

関係課 : 社会福祉課

1. 目的

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を充分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。
また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
審議会等の女性委員比率	%	目標値		35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
		実績値	34.0(R2)	32.4(R4.4.1)	31.3 (R5.4.1)	32.1 (R6.4.1)			
市の男性職員の育児休業・部分休業取得率	%	目標値		3.8	5.1	6.3	10.0	10.0	10.0
		実績値	2.6(R2)	23.3	32.6	50.0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
審議会等の女性委員比率	未達成	審議会等委員は、それぞれの設置根拠により定められた各組織の代表等で構成されることが多いため、各組織での代表的な役職に女性が就任することを待つしかない状況となっています。
市の男性職員の育児休業・部分休業取得率	達成	対象職員及び所属長への面接を通して、育児休業・部分休業制度の説明を行うとともに、新たに「男性職員の育児参画促進に向けた面談シート」及び「育児休業収入シミュレーション」を作成・周知し、職場で育児休業・部分休業の取得がしやすい環境整備に努めました。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	男女共同参画プランに掲げる77事業は概ね順調であり、施策全体はほぼ順調と評価します。今年度は、男女共同参画プランの評価指標の1つである「市消防吏員の女性比率」が大きく伸びて5.3%となり、令和10年度目標値3.0%を早々に達成することができました。一方で「審議会等の女性委員比率」は、昨年度に比べ微増となりましたが、目標値を達成することはできませんでした。設置根拠により定められた各組織の代表職で構成されている審議会等が多いため、所属する組織で役職に就く女性が増えないことには、目標達成が難しい状況にあります。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 8-2 人権尊重社会の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 :

1. 目的

すべての人々の基本的な人権が尊重され、かけがえのない人生をその人らしく過ごせる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	%	目標値		22.3	23.8	25.4	27.0	28.6	30.0
		実績値	20.7(R2)	45.6	42.3	49.3			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	達成	令和6年度受講者：市職員、市職員新規採用職員研修、教頭会、柏人権擁護委員 前年度より実績が増加し、目標値も達成しました。今後も引き続きゲートキーパー研修及びゲートキーパーに関する啓発等を行い、ゲートキーパーの役割を知っている人の割合を増やしていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	ゲートキーパーの認知度が向上し、指標の実績値が向上しました。さらなる人権尊重社会の実現に向けて、関係者の協力と市民参加を促進していきます。また、多様性を認め合い、お互いを大切にする地域づくりを目指します。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 8-3 平和社会の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 : 社会福祉課

1. 目的

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていきます。

2. 展開内容

「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
リレー講座開始からの派遣中学生 OB・OGの参加延べ人数	人	目標値		93	107	121	135	149	163
		実績値	79(R2)	105	118	123			
平和事業への参加者数	人	目標値		337	363	390	417	443	470
		実績値	310(R2)	360	343	452			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
リレー講座開始からの派遣中学生OB・OGの参加延べ人数	達成	広島・長崎に派遣した元中学生が講師を務めており、毎年新たな講師が誕生しています。子どもたちへの平和教育として重要な事業であるため、引き続き実施していきます。
平和事業への参加者数	達成	令和6年度は、広島に派遣した中学生が例年より多かったことから、各平和事業に会場した関係者が多かったと思われます。引き続き、幅広い世代に平和に関心を持ってもらえるよう推進していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	派遣事業では全6校16名の中学生を派遣し、被爆の実相や平和の尊さを学び、平和の集いにおいて派遣を通して感じたことや学んだことを報告することができました。リレー講座は小学6年生を対象に市内全小学校13校で実施することができました。また、8月10日には、小学6年生以外の子どもたちに向けてリレー講座特別版を実施しました。被爆体験者が少なくなっている中、若い世代へ平和の尊さを受け継ぐため引き続き事業を推進していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称 : 8-4 国際交流・多文化共生の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 :

1. 目的

国際理解を深めるとともに、国籍等の異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として生きていくための多文化共生を進めていきます。

2. 展開内容

在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
「外国人のための日本語教室」登録者数	人	目標値		64	70	76	82	88	93
		実績値	58(R2)	77	76	88			
国際交流まつりの来場者数	人	目標値		682	683	685	690	690	690
		実績値	680(R2)	323	770	600			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
「外国人のための日本語教室」登録者数	達成	市内在住外国人数は年々増加しており、日常生活を送るための日本語教室の必要性は高いことから引き続き実施していきます。
国際交流まつりの来場者数	未達成	大人数の団体参加がなかったため、令和6年度の来場者数は前年度を下回りましたが、キプロス共和国やウズベキスタン協会が参加するなど、国際交流に寄与していることから、引き続き実施していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	あびこ国際交流まつりでは、日本ウズベキスタン協会、キプロス共和国がブースを出品したほか、中央学院大学の留学生による民族楽器の演奏など国際色豊かなイベントを開催することができました。在住外国人数が増加する中、引き続き、多文化共生社会の実現のため、我孫子市国際交流協会と連携していきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称： 効率的・効果的な行財政運営の推進

主管課： 企画総務部 企画政策課

関係課： 人事課、行政管理課、資産管理課、財政課、収税課

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
一人当たりの時間外勤務数	時間	目標値		112.2	109.3	106.5	103.6	100.7	98
		実績値	115.1(R1)	113	103.2	101.1			
経常収支比率	%	目標値		全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下
		実績値	93.3(R2)	88.2 (R3)	92.9 (R4)	95.3 (R5)			
財政調整基金の年度末残高	万円	目標値		標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%
		実績値	234,700(R2)	326,700 (R3)	421,700 (R4)	394,500 (R5)			
市税（現年課税分）の収納率	%	目標値		98.76	98.81	98.86	98.91	98.96	99.00
		実績値	98.71(R2)	98.95	98.92	99.90			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
一人当たりの時間外勤務数	達成	行政手続きのデジタル化や効率化等の効果により、時間外勤務時間数の減少につながったと思われます。今後も適正な人員配置を行い、職員一人当たりの時間外勤務時間数が少なくなるよう努めます。
経常収支比率	未達成	令和5年度実績においては、普通交付税の追加交付の影響があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ小さくなったことや、障害者自立支援給付費などの扶助費の増により、前年度比2.4%増の95.3%となり、目標としていた全国の類似団体の平均（94.0%）を上回る数値（目標未達成）となりました。 今後は、新クリーンセンター整備のために借入れを行った地方債の償還が発生することから、経常的経費の更なる削減と投資的経費の重点的・効果的配分を図るとともに、一層の財源確保を行い、目標達成に努めていきます。
財政調整基金の年度末残高	達成	令和5年度実績においては、新クリーンセンター整備事業に係る地方債の減少があり、当初予算への繰入額が前年度より多かったものの、目標としていた標準財政規模の10%（260,286万円）を上回る数値（目標達成）となりました。 しかし、中期財政計画から今後もより厳しい状況が続くことから、引き続き目標達成に努めていきます。
市税（現年課税分）の収納率	達成	市税全体の収納率として前年度を超える水準を確保することができました。これは、令和5年度から始まった地方税統一QRコードの方法による納付が浸透してきたためと考えられます。 引き続き、自主財源である市税を適正に確保するため、滞納処分を確実に実施し、徴収率の向上を図るとともに、地方税統一QRコードの方法の周知を行い納税者の利便性向上のための取組を推進してまいります。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調とはいえない	指標の達成状況は概ね良好でしたが、昨年度に引き続き経常収支比率が上昇しており、財政状況は好転していません。令和6年度からは、財政課と企画政策課が中心となり、事業所管課と対話しながら、市の全事業を対象に事業の廃止や縮小も視野にいれた抜本的な見直しを進めています。 引き続き、DXの推進等による業務の効率化や、事業そのものの必要性検証により歳出の抑制に努めるとともに、ふるさと納税、ネーミングライツ、国や県の補助金活用等により歳入の確保に努め、持続可能な行財政運営に向けた取組を進めます。

令和6年度 施策評価表

施策名称： 市民とともにつくる協働によるまちづくりの推進

主管課： 市民生活部 市民協働推進課

関係課： 秘書広報課、行政管理課

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
市民交流を目的としたイベントの参加者数	人	目標値		2,657	2,825	2,994	3,161	3,332	3,500
		実績値	2,488(R1)	1,147	1,030	1,171			
市民活動ステーションの利用件数	件	目標値		6,805	6,844	6,883	6,922	6,961	7,000
		実績値	6,766(R1)	4,549	5,394	5,163			
自治会・町内会への加入率	%	目標値		70.6	71.3	72.0	72.7	73.4	74.0
		実績値	69.9(R2)	69.0	67.7	66.7			
近隣センターの稼働率	%	目標値		46.5以上	46.5以上	46.5以上	46.5以上	46.5以上	46.5以上
		実績値	46.5(R1)	42.4	42.7	42.7			
市ホームページのアクセス数	アクセス	目標値		9,939,216	10,124,570	10,309,928	10,495,285	10,680,642	10,866,000
		実績値	9,753,855(R1)	15,872,551	15,804,208	18,272,001			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市民交流を目的としたイベントの参加者数	未達成	令和6年度市民のチカラまつりの企画部門に232人、まつり部門に939人が参加しました。企画部門は地域コーディネーター養成講座修了生が中心となり実施しましたが、チラシなどで内容を伝えるのが難しく、一般参加者をもう少し増やせればと思います（令和7年度は市民のチカラまつりと切り離して実施予定）。 まつり部門は、これまで課題であった高齢者の参加が増え、盛り上がりを見せました。また、学生が主体となるイベントも開催し、若い世代の参加も見られました。運営側もプロジェクトとして分けることで、企画側の意識を高めることができたと思います。
市民活動ステーションの利用件数	未達成	前年度から微減となっていますが、会議室以外の設備についてはほぼ前年と同程度です。登録団体数は少しずつも増えていることから、各団体が利用できることを周知していきます。
自治会・町内会への加入率	未達成	昨年に続き加入率は低下しています。要因としては、加入世帯数が前年度とほぼ同程度へ微減であるため、分母である全世帯数が、単身世帯の増加に伴い増えていることがあります。ただし、外国人口が増加しているものの、自治会へ加入しないケースも多く、今後も減少していくと考えられます。引き続き、転入者へのチラシ配布、市ホームページでの周知、災害時の共助の呼びかけなど、自治会の必要性を啓発していきます。
近隣センターの稼働率	未達成	例年と同程度の稼働率となりました。市ホームページで稼働率を公表することで、利用者が予約しやすい曜日などが分かりやすくなりました。施設の改修に伴う休館などもありますが、事前に周知するなど、利用者に不便がないように対応します。
市ホームページのアクセス数	達成	令和5年11月にリニューアルしたトップページを効率的に活用し、より効果的な情報発信に努めたこと、また、令和6年7月に検索システムを改修したことにより、探したいページへのアクセスが向上し、利便性が高くなったこと、さらにシティプロモーション事業によるホームページへの誘導といった相乗効果でアクセス数が増えたと考えています。今後も効果的な情報発信とシティプロモーション事業との連携により、多くの方にアクセスしていただけるよう努め、見やすい、探しやすいホームページの管理・運営に取り組んでいきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	未達成となっている指標はありますが、前年度と同程度の水準を維持しており、ほぼ順調に進んでいます。 まちづくりに参画する市民を増やすためには情報発信と機会（イベントなど）が必要であり、市民活動ステーションと連携し、必要な情報を得られる状態ができています。また、イベントにおいても運営方法の見直しや若い世代の参画などにより活性化が見られました。地域のコミュニティとしては、自治会等への加入率は単身世帯・外国人世帯などが増えていることで低下の傾向にありますが、加入世帯数としては一定の水準を維持しています。今後も、市民の自主的な取り組みを支援し、協働によるまちづくりを進めていきます。

令和6年度 施策評価表

施策名称： 戦略的なシティプロモーション

主管課： 企画総務部 秘書広報課

関係課： _____

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定住と市外の方の移住促進を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
魅力度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		567	543	520	500	470	450
		実績値	590(R3)	615	553	524			
魅力度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		6.2	6.5	6.9	7.2	7.6	8.0
		実績値	5.8(R3)	5.7	6.4	6.9			
認知度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		247	237	228	220	210	200
		実績値	256(R3)	252	250	267			
認知度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		34.4	35.0	35.7	36.2	36.8	37.5
		実績値	33.8(R3)	33.8	32.8	31.9			
情報接触度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		266	253	240	220	210	200
		実績値	279(R3)	345	352	316			
情報接触度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		21.8	22.7	23.5	24.5	25.5	26.0
		実績値	21.0(R3)	18.6	17.8	19.6			
居留意欲度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		346	317	288	250	215	200
		実績値	375(R3)	382	409	633			
居留意欲度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		6.0	6.1	6.3	6.4	6.5	6.7
		実績値	5.8(R3)	6.2	5.7	5.0			
あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	回	目標値		143	155	166	200	200	200
		実績値	132(R2)	556	600	640			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
魅力度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位29、得点0.5点上昇。今年度も、引き続き移住情報リーフレット制作や移住PR広告を都心で働く女性向けフリーペーパーに掲出するなど、住宅地価が、相対的に割安な点や、手賀沼周辺の自然環境の良さや子育てしやすい街の魅力のPRに注力したことが、上昇の一要因と考えます。引き続き、魅力度の向上に注力していきます。
魅力度（地域ブランド調査点数）	達成	同上。
認知度（地域ブランド調査順位）	未達成	認知度はおおむね横ばいでした。引き続き、移住に重点を置いたPR活動に注力します。
認知度（地域ブランド調査点数）	未達成	同上。
情報接触度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位36、得点1.8点上昇。前年度より継続した都心で働く女性向けフリーペーパーでの移住PR広告やリーフレットの制作に加え、本年度より、県内自治体で初めて不動産情報サイトSUUMOを活用した移住PRネット広告を開始しました。本施策の効果については、R7年度調査結果を注視してまいります。
情報接触度（地域ブランド調査点数）	未達成	同上。
居留意欲度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位、点数ともに下振れ。他市町村も移住PRに注力しており、相対的に順位が低下したと思われます。引き続き、都心へのアクセスの良さと自然の豊かさのバランスの取れた移住先として、若い子育て世代に向けて、ネット広告なども組み合わせてPRに注力します。
居留意欲度（地域ブランド調査点数）	未達成	同上。
あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	達成	各課からのプレスリリースやイベント情報をもとに、定期的に複数のニュースサイトを通じた積極的な情報発信の結果、前年を上回る掲載数となりました。今後も情報発信は継続します。しかし、R7以降は、予算削減による発信媒体の減少のため、大幅に減少する見込みです。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>本施策では、移住・定住化を促進するための魅力発信に取り組んでいます。令和6年度も、選ばれる移住先として市の魅力を訴求するため、都心の企業で働く女性向けのフリーペーパー「シティリビング」への広告掲載、同紙面を活用した移住促進リーフレット「住み替えあびこナビ」の市東部版の制作・配布、不動産情報サイトSUUMOへのweb広告出稿など、限られた予算の中で効果的な情報発信となるよう、工夫を重ねながら事業を実施しました。SUUMOへの広告出稿では、同時期他案件と比べ、クリック数や閲覧数が多いという、概ね良好な結果が出ました。</p> <p>首都圏の住みたい街をWEB調査した、SUUMO住みたい街ランキングでは、7年間で最高位となる120位を記録。順位の元となる得点も同様に過去最高得点で、本市のイメージ改善も着実に進み、PRの成果が表れたと見ています。</p> <p>令和7年度は、前年度と同様の手法で引き続きPRをしていきます。具体的には、フリーペーパーへの広告出稿を2回(市全域版と東部版)へ増やす他、同広告をベースにした移住促進リーフレット2種類の制作・配布を行います。不動産情報サイトへの広告出稿も引き続き行い、こちらも東部版の紹介記事を追加のうえ、前回得られた閲覧データをもとに、転入者の獲得に向けて、より効果的なPRを図ります。</p>